

## 日本骨髄バンクの現状（平成 17 年 10 月末現在）

	9 月	10 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	4,378	6,873	224,446	286,225
患者登録者数	169	230	3,097	19,360
骨髄移植例数	76	98	-	6,883

20 歳未満のドナー登録者数  
10 月 407 人  
合計 1,476 人（17 年 3 月～）  
51 歳以上のドナー登録者数  
10 月新規 321 人  
延長 191 人  
合計 954 人（17 年 9 月～）

注）数値は速報値のため訂正されることがあります。

## 1 10 月の月間ドナー登録者数が初の 6,000 人台

10 月の月間ドナー登録者数が、「過去最多」だった 9 月の 4,378 人をさらに約 2,500 人上回る 6,873 人となりました。昨年 10 月の 2,949 人と比較すれば、2 倍以上の激増ぶりです。

これは、公共広告機構の支援キャンペーン（井原正巳氏）が好評であることに加え、骨髄バンク推進月間に合わせた登録会が、今年は顕著に功を奏したためです。都道府県別では、東京（987 人）、千葉（690）、愛知（606）がベストスリーでした。中でも千葉県は東京モーターショーの会場で 14 日間の会期中、852 人の登録がありました。この登録者数は千葉県の平成 16 年度 1 年間の登録者数を上回りました。

さらに特徴的なのは、集団登録での登録者数（献血併行が 3,048 人）が日本赤十字社の固定窓口での登録者数（2,337 人）を上回ったことです。全国各地で、日赤の協力による登録会が数多く開催されたためと考えられます。全国のボランティア、関係者に感謝！

訂正 10 月 15 日号で、51 歳以上のドナー登録者数を「登録者総数の 10.1%」と記述してあるのは誤りで、正しくは「9.7%」でした。

## 2 移植例数も「過去最多」の月間 98 例。年内に累計 7,000 例突破か

日本骨髄バンクを介した 10 月の非血縁者間骨髄移植例数が 98 例となり、過去最多を記録しました。過去の最多は昨年 10 月と今年 6 月の 94 例でした。年内に累計 7,000 例の大台に達する勢いで、今年度の年間例数は昨年度の 851 例を超えて 900 台になりそうです。

98 例の内訳は、国内ドナー 国内患者 94 例、国内ドナー 海外患者 4 例（韓国 3、アメリカ 1）で、これを 10 月末までの累計数（6,883 例）で見ますと、国内ドナー 国内患者 6,466 例、国内ドナー 海外患者 140 例（うち韓国が 115）、海外ドナー 国内患者 137 例（うちアメリカ 105）となっています。

## 3 世界の骨髄HLA登録データが11月16日に1,000万を達成

BMDW（Bone Marrow Donors Worldwide = 本部：オランダ）が集積している全世界のドナー登録者の HLA データが、10 月末に 1,000 万の大台に乗りました。ただ、この中にはさい帯血バンク（21 カ国 38 バンク）のデータが約 20 万含まれており、骨髄バンク（日本を含む 42 カ国 57 バンク）だけの集計では 11 月 16 日が 1,000 万達成とされています。

#### 4 国際協力の現状・バンクを介しての2回提供者・DLI状況(9月末)

##### 1) 国際協力の現状

			2005.7~9			~2005.9末	
海外ドナーから国内患者へ			登録患者数	全抗原適合*	コーディネート数	移植数	累計移植数
NMDP(米国)	日本		11	9	4	2	105
BTCSCC(台湾)			13	7	6	1	21
KMDP(韓国)			13	6	7	0	11
計			-				137
国内ドナーから海外患者へ			登録患者数	全抗原適合*	コーディネート数	提供数	累計提供数
日本	NMDP(米国)		20	11	20	0	5
	BTCSCC(台湾)		2	2	0	0	0
	KMDP(韓国)		102	74	47	4	112
	その他の国**		-	-	-	0	19
計			-				136

\* 1人でも適合したドナー候補者が見つかった患者の数。

\*\* その他の国と地域は累計のみ掲載します。提供内訳は香港6件、英国2件、オランダ1件、オーストラリア1件、ブラジル2件、ドイツ2件、ベルギー2件、カナダ1件、シンガポール1件、フランス1件。

2) 骨髄バンクを介して2回提供された方(累計数) 256人

3) DLI(ドナーリンパ球輸注)療法の実施件数(累計数) 154件

#### 5 フコク生命も「ドナー給付金」導入。患者さんには7人に適用

富国生命保険相互会社(本社・東京)は10月2日から骨髄の提供者に対する移植医療給付金の支払いを始めました。平成14年に導入した「移植医療特約(02)」で適用されるものです。難しい計算式はなく一律「30万円」で、通算2回までの提供に支払われます。

同社はすでに、移植医療特約(02)では患者さんへの給付を開始しており、造血機能の回復を目的とした骨髄移植(通算3回まで)を受けたとき、初回300万円・2回目以降100万円を支払うもので、これまでに7人の患者さんが受け取っています。

#### 6 フォーラム「がん先端医療を患者に届けるには」-11月27日に開催

公開フォーラム「第2回 がん先端医療を速やかに患者に届けるには」が11月27日(日)13:00~17:30、東京・中央区の浜離宮朝日小ホール(地下鉄大江戸線「築地市場」)で開催されます。NPO法人日本臨床研究支援ユニットなど主催(骨髄移植推進財団など後援)です。第1部「医療を受ける側の使い勝手」、第2部「医療における変革の方向とその取り組み」、第3部「フリーディスカッション」が予定されています。参加費は一般2000円・学生1000円となっています。問い合わせ・申し込みは同ユニット(03-5297-6258)へ。

#### 7 中溝裕子さんの絵手紙カレンダー2006を今年も販売

骨髄移植を経験したプロゴルファー・中溝裕子さんの「絵手紙カレンダー」が今年も販売されます。カレンダーは卓上カレンダー(ケース入り)と壁掛けの2種類です。今回も売り上げの一部が当財団に寄付されます。お申し込みはライツのホームページ(<http://www.s-rights.co.jp>)から。

#### 8 財団の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局総務部までお申し込みください。

	公開・非公開	開催予定
常任理事会	公開	12月2日(金)17:00~19:00 廣瀬ビル2階会議室